



2020年度（令和2年度） 事業計画

社会福祉法人育木会

学びの保育園グループ

新川崎・学びの保育園

7期事業計画

1. 『人と組織の成長』について次のステージに進化させる
⇒ ・ 執行部への継続とメンバーを巻き込んだチームビルディングを並行して進め、さらに組織開発の風土や文化の定着を進める。
 - ・ 保育スキルの向上については、今期も全体研修や各園にてレベルを上げて進める。
 - ・ メンバーのキャリアパスの提示の検討をスタートさせる。
2. 『独自性高い保育サービスの実現』を深める期とする
⇒ ・ 保育の仕事の思いを共有する法人内広報誌をさらに進化させる。
 - ・ 学びの保育園と言え、**「〇〇！」**と言われる独自性の探求が必要。
 - ・ 第三者評価について、組織的な対応が必要と思える。
 - ・ 個人評価については、少しずつ勉強と研究を進める。
3. 『園の収益性と発展性の向上』を継続して進める
⇒ ・ 園の権限移譲と収益の強化が進んできたので、褒賞の検討も含めさらに進める。
 - ・ 今春に藤沢市善行で1園開園。来春には府中市で1園開園予定。1年1園を今後も進める。
 - ・ 監査の文書指摘ゼロを今年も実現。永遠に目指していく。
 - ・ 保育の発展のために、リーダー職のミッションを明確にするスタートの年にする。

7期事業計画を進めるアクション内容と役割

	内容	法人	園長	メンバー	備考
①	チームビルディングの進行と定着	◎	○		
②	保育スキルアップ研修	△	◎	○	法人主導は全体研修
③	キャリアパスの提示	◎			
④	法人内広報誌の充実	◎	△		
⑤	保育園の独自性の追求	◎	◎		園長主導で進行
⑥	第三者評価への組織的対応	△	◎	○	
⑦	個人評価の研究	◎			
⑧	収益の確保と還元	△	◎	◎	還元の方法を法人が検討
⑨	新園の開園	◎			
⑩	監査への文書指導ゼロ対応	△	◎	○	
⑪	リーダー職のミッションの明確化		◎	◎	園長主導で進行

7期事業計画を進めるアクションの進め方

1. 事業推進会議で進め方について議論し簡易ロードマップを作成（5月）
2. 園長会にて具体的なロードマップの作成開始（6月）
3. ロードマップ作成完了（7月）
4. 各園にて共有（7月）
5. 9月の全体会議にて現状共有（9月）
6. 翌1月の全体会議にてふりかえり（1月）

7期事業計画は7期で完了するテーマではなく、3か年で完了するようなテーマかと思います。そのためにも7期はそのスタートとなる期としたいと考えています。

事業計画（各園）④ 新川崎

【新川崎・学びの保育園】

「みんなで話し合い、考え、学びあう保育園」

- ①子どもたちが主体的に遊び・活動できる声かけや環境設定の工夫
 - ・主任、副主任が各クラスへ積極的に関わり、アドバイスする
 - ・区の講師派遣制度の活用、他園の見学や園外研修への積極的な参加
 - ・園内研修（学び合いの場）を職員同士で作っていく

- ②ミドルリーダー層の育成と活躍の場を作る
 - ・役割と目標を明確にし、学び合いの場を増やす

- ③執行部の強化
 - ・執行部ミーティングの機会を増やし、園をよくするための共通認識と理解を深める⇒職員へ伝播

年間研修計画予定

【園内研修】 ※各園ごとに計画

【新職員研修（新卒者対象）】

- ・社会人としてのマナー研修

【チームビルディング研修（年間通して 振り返り含む）】

- ・執行部（園長/主任/副主任対象）
- ・給食室メンバー

【法人全体研修（9月）】

- ・保育スキル研修（ワークショップ方式）とレビュー会議（開催方法は検討中）

【メンター/メンティー研修（年間通し月1回程度）】

【法人全体研修（1月）】

【新入職者研修（2月）】 ・2021年4月入職者向け研修